汚濁負荷量測定手法届出書

年 月 日

様

届出者

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名)

水質汚濁防止法第14条第3項の規定により、汚濁負荷量の測定手法について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号			
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年	月	П
△汚濁負荷量の測定手法	別紙のとおり。	※備 考			

- 備考 1 \triangle 印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
 - 4 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載すること。

汚濁負荷量の測定手法

							指定項目の別		
1	特定排出水の区分	汚	染	状	計態	測 方 特定排出水の量	法 その他の汚濁負荷 の測定に必要な§		計測場所
									別図のとおり
									別図のとおり
									別図のとおり
									別図のとおり
									別図のとおり
2	特定排出水の区分	特定排出水の1日当たりの汚濁負荷量の算定方法					方法		
3	参考事項	•							

備考 汚濁負荷量の測定手法の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。

その他の汚濁負荷量の測定に必要な事項

					指定項	目の別	COD
特定	排出水の区分	7	#	寺定 排 出 水	特定排出水	.以外の排出	出水 排出水
	水質自動計測器等の種類(注1)	選定の机	艮拠	測定回数	知事の定め る適用要件	困難であ	るとする根拠
汚染状							
態	換算式(注	È2)		換 第	章 式	の 根	拠
の計測方							
法			備				考
	年 月 年 月	日日					
	流量計等の種類 (注 1)	選定の机	艮拠	測定回数	知事の定め る適用要件	困難であ	るとする根拠
量							
Ø) F+ 6-6- 1. /	20 - 1		1.5			II.e
	☆換算式(注 2)		換	章 式	の根	拠
計							
測							
方	工事着手予定	2年日日					考
N. I	上 争 有 于 了 2 計 測 開 始 予 5			<u></u>			每
法							
	年 月年 月	日日					

- (注1) 形状図、仕様書(又はカタログ)等を添付すること。
- (注2) 換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。
 - ☆ 用水の量を計測することにより特定排出水の量、又は特定排出水以外の排出水の量を 計測する場合のみ記入すること。

その他の汚濁負荷量の測定に必要な事項

						指定項	目の別	窒素含有量	
特定	三排 出 水	の区分		华	寺定排出水	特定排出水	以外の排	出水 排出水	
	水質自動計測器 等の種類(注1) 選定の		恨 拠	測定回数	知事の定める適用要件	困難であ	っるとする根拠		
	自	·		① 計	測回数		•	口	
汚染	動 計	ゼロ	校正液	②各	②各計測値とその平均値との差の、最大目盛値に対する比率: ~ %				
米	測			① 計	測回数			口	
態	器	標準記	式料溶液				の差の標準記	大料溶液濃度に対する	
の	Ø)	74. 1 4	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	比率	比率 [又は濃度差]:				
計	性 能			① 計	測回数	% [mgN/L] 同	
測方	基		→ h stat		②計測値の平均値と指定計測法による測定値の平均値との誤差率(注4)				
法	準	美	試料	[又は濃度差]:					
	(注 2)					%	[mgN/L]	
	工事着			備			考		
	計測開生	<u>日子足</u> 月	<u>年月日</u> 日						
	年	月	日日						
	流量計等	の種類	選定の	HB Him	測定回数	知事の定め	田器でも	っるとする根拠	
量	(注 1	.)	選足の/	区 拠	侧足凹剱	る適用要件	四無じめ		
0									
⇒ 1.	☆換算	式(注	È 2)		換	 算 式	- の 根	拠	
計									
測									
方	工事着	手予定	年月日		備			考	
//	計測開始								
法	年	月	日日日						
法	年	月	日						

- 形状図、仕様書(又はカタログ)等を添付すること。 (注1)
- 性能基準及び換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。 (注2)
- 誤差率は、次式により求めること。なお、実試料試験を最大目盛値の50%に満たない濃 (注3) 度の試料で行った場合は、誤差(%FS)により求めること。

[自動計測器の計測値の平均値] - [指定計測法の測定値の平均値] 誤差率(%)= ×100

[指定計測法の測定値の平均値]

用水の量を計測することにより特定排出水の量、又は特定排出水以外の排出水の量を $\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$ 計測する場合のみ記入すること。

その他の汚濁負荷量の測定に必要な事項

						指定項	目の別	りん含有量	
特定	三排 出 水	の区分		华	寺定排出水	特定排出水	以外の排	出水 排出水	
	水質自動計測器 等の種類 (注1) 選 定 の :		選定の	恨 拠	測定回数	知事の定め る適用要件	困難であ	るとする根拠	
汚染				①計測回数 回 ②各計測値とその平均値との差の、最大目盛値に対する比率: ~ %					
状態の計	状 測態 器 煙 準 封 約 流 流				① 計 測 回 数 回 ②計測値の平均値と標準試料溶液濃度との差の標準試料溶液濃度に対する 比 率 [又 は 濃 度 差] :				
測方									
	(注2)	~ - 4			£11a	% [mgP/L]	
	工事着								
	計測開生	百了足 月	日 日						
	年	月	日						
量	流量計等 (注 1	の種類	選定の	恨 拠	測定回数	知事の定め る適用要件	困難であ	るとする根拠	
里									
の	Ø								
計	☆換算式 (注2)				換 算 式 の 根 拠			拠	
測									
方	工事着		· ·		備			考	
	計測開力								
法	年年	月 月	日日						

- (注1) 形状図、仕様書(又はカタログ)等を添付すること。
- (注2) 性能基準及び換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。
- (注3) 誤差率は、次式により求めること。なお、実試料試験を最大目盛値の50%に満たない 濃度の試料で行った場合は、誤差(%FS)により求めること。 [自動計測器の計測値の平均値]-[指定計測法の測定値の平均値]

誤差率(%)=

[指定計測法の測定値の平均値]

×100

☆ 用水の量を計測することにより特定排出水の量、又は特定排出水以外の排出水の量を 計測する場合のみ記入すること。